



(財) 財務会計基準機構会員



## 2016年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2016年1月8日

上場会社名 株式会社コックス 上場取引所 東  
 コード番号 9876 URL <http://www.cox-online.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)吉竹 英典  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理担当 (氏名)速水 英樹 (TEL)03(5821)6070(代)  
 四半期報告書提出予定日 2016年1月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無(機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2016年2月期第3四半期の連結業績(2015年3月1日~2015年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2016年2月期第3四半期	16,095	0.7	△7	—	119	36.0	△92	—
2015年2月期第3四半期	15,982	0.8	△45	—	87	—	△186	—

(注) 包括利益 2016年2月期第3四半期 722 百万円(—%) 2015年2月期第3四半期 △211 百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2016年2月期第3四半期	△3.	36	—	—
2015年2月期第3四半期	△6.	77	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2016年2月期第3四半期	21,646	13,658	63.1
2015年2月期	21,088	12,987	61.6

(参考) 自己資本 2016年2月期第3四半期 13,650百万円 2015年2月期 12,980百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2015年2月期	—	—	—	0.00	0.00	—
2016年2月期	—	—	—	—	—	—
2016年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2016年2月期の連結業績予想(2015年3月1日~2016年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	22,100	1.9	300	815.6	460	117.4	50	36.1	1.81	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2016年2月期3Q	27,711,028株	2015年2月期	27,711,028株
2016年2月期3Q	126,338株	2015年2月期	139,139株
2016年2月期3Q	27,579,520株	2015年2月期3Q	27,572,086株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間の連結業績は、売上高160億95百万円（前年同期比100.7%）、営業損失7百万円（前年より38百万円の改善）、経常利益1億19百万円（前年より31百万円の改善）、四半期純損失92百万円（前年より94百万円の改善）と、前年より増収となり、利益面でも改善しました。

売上高は、国内事業における既存店売上高が前年比101.3%と超過したことで、Eコマース売上高が前年比195.1%と拡大したことが増収に寄与しました。商品面では、雑貨商品とキッズ商品が牽引しました。雑貨商品は、リュックやスニーカー、ハット、ハンモック等が好調となりました。キッズは、展開店舗を増加させるとともに、雑貨の品揃えを拡充しました。

当期の重点施策「業態改革による収益力の向上」「デジタル化の推進」では、次のような成果をあげることが出来ました。

「業態改革による収益力の向上」については、ブランドごとにターゲットを見直し、新業態開発を進めております。基幹の「ikka事業」は、テーラードジャケットを軸としたビジネスカジュアルを提案するとともに、オリジナル商品やセレクト商品も加えた服飾雑貨が充実した、大人のカップルのための新業態「ikka LOUNGE」のさらなる進化・拡大に取り組みました。3月のステラタウン店オープン、8月のmozoワンダーシティ店の業態転換に加え、9月にイオンモール旭川西店、ららぽーと磐田店を業態転換し、10月にららぽーと海老名店、11月にラスカ茅ヶ崎店をオープンしました。その結果、当第3四半期末時点で「ikka LOUNGE」はオンラインショップ1店舗を含め合計12店舗まで拡大しました。「ikka LOUNGE」は既存の「ikka」店舗より坪当たり売上高が約1.5倍の高効率で推移しています。また、10月より、オンタイムニーズにも応えるレディス新ブランド「Sens de vie（サンス ドゥ ヴィ）」を立ち上げ、新たな顧客獲得と収益力の向上を図っております。

「LBC」は、顧客ターゲットを「30代女性」から「30代から40代のニューカップル・ニューファミリー」に見直し、観葉植物やその関連商品を基軸に、テラスやカフェシーンを提案する大人のためのライフスタイルショップとして新業態「Lbc with Life」を開発しました。3月の京王高幡ショッピングセンター店、4月のビーンズ赤羽店オープンに続き、9月にイオンモール旭川西店を業態転換、10月には旗艦店としてららぽーと海老名店をオープンしたことにより、「Lbc with Life」は当第3四半期末時点でオンラインショップ1店舗を含め5店舗となりました。「Lbc with Life」は既存の「LBC」店舗より坪当たり売上高が約1.4倍の高効率で推移しており、「LBC」の好調を牽引しております。

「VENGE EXCHANGE」は、顧客ターゲットを「20代前半のカップル」から「20代から30代のカップル」に見直し、男女兼用で使える雑貨や欧米セレクト商品を加えた新業態「VENGE share style」を開発しました。3月に業態転換したイオンレイクタウン店に続き、9月にはららぽーと磐田店、横浜ビブレ店を業態転換し、10月に関西の旗艦店としてイオンモール四條畷店をオープンしました。これにより「VENGE share style」はオンラインショップ1店舗を加え、5店舗に拡大しました。「VENGE share style」は既存の「VENGE EXCHANGE」店舗より坪当たり売上高が約1.4倍の高効率で推移しており、「VENGE EXCHANGE」の好調を牽引しております。

「デジタル化の推進」については、Eコマースの売上高拡大、オムニチャネル化の推進などに注力しております。特に雑貨商品の品揃え拡充、限定商品の販売、新商品の先行予約等に取り組み、いずれもお客さまから高い支持を頂きました。3月には雑誌「LEE」の公式ECサイト「LEEマルシェ」に「LBC」を出店、4月には楽天株式会社が運営するファッション通販サイト「stylife（スタイライフ）」に「ikka」「LBC」「VENGE EXCHANGE」の3ブランドを出店し、販売チャネルの拡大をしました。9月にはファッション通販サイト大手の「Magaseek（マガシーク）」に「LBC」と「VENGE EXCHANGE」がオープンし、「ikka」と合わせて3ブランド全てが「Magaseek」に出揃いました。

昨年スタートした「コックスファッションアプリ」は、アイテム検索機能やスタッフコーディネート検索機能などを強化し、3月にリニューアルしました。また、SNSの当社公式アカウントで多くのフォロワーを持つスタッフによる、商品紹介企画を新たにスタートし、お客さまからご支持頂いております。さらに、9月より「コックス公式オンラインショップ」と「コックスファッションアプリ」の商品ページにおいて「店舗在庫検索機能」を導入しました。これにより、お客さまの利便性を向上させ、店舗とEコマースの相互送客など、店舗とネットをシームレスに繋ぐオムニチャネル化をさらに進めております。

店舗とネット通販共通のポイントサービス「COX MEMBERS CLUB」については、会員さま対象の特別セールや、新規入会キャンペーン等を実施しました。これにより、当第3四半期末時点の会員総数は、前期末時点から7万5千人増加の約18万人となりました。

中国事業については、前年に事業の見直しにより直営小売事業から商品供給事業へのシフトを進めると同時に、事業規模に見合う本部のスリム化を進めました。この結果、営業赤字を大幅に削減し、連結業績の改善に寄与しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5億58百万円増加し、216億46百万円となりました。増減の主な内容は、売上預け金が1億25百万円、たな卸資産が5億24百万円、投資有価証券が9億26百万円増加し、関係会社預け金が9億50百万円減少したこと等によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1億12百万円減少し、79億87百万円となりました。増減の主な内容は、賞与引当金が1億15百万円、繰延税金負債が1億31百万円増加し、支払手形及び買掛金・電子記録債務が1億32百万円減少したこと等によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ6億71百万円増加し、136億58百万円となりました。増減の主な内容は、その他有価証券評価差額金が7億95百万円増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2016年2月期の業績予想については、2015年4月9日の決算発表時に公表しました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日公表分。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について退職給付の見込支払日までの平均期間を基礎として決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が56,830千円増加し、利益剰余金が同額減少しております。なお、当第3四半期連結累計期間における営業損失、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2015年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2015年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	636,388	612,991
受取手形及び売掛金	63,195	98,893
売上預け金	862,743	988,741
たな卸資産	2,619,484	3,144,225
未収入金	202,184	194,606
関係会社預け金	4,900,000	3,950,000
その他	207,407	219,483
貸倒引当金	△419	△427
流動資産合計	9,490,984	9,208,515
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,212,058	1,181,238
その他(純額)	72,646	75,405
有形固定資産合計	1,284,705	1,256,643
無形固定資産		
	14,642	35,676
投資その他の資産		
投資有価証券	7,321,762	8,248,375
差入保証金	2,876,109	2,787,990
その他	104,938	111,624
貸倒引当金	△4,965	△2,501
投資その他の資産合計	10,297,845	11,145,489
固定資産合計	11,597,193	12,437,810
資産合計	21,088,178	21,646,325
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,453,374	1,661,857
電子記録債務	2,299,410	1,958,708
未払法人税等	161,885	108,446
賞与引当金	39,222	154,570
役員業績報酬引当金	23,834	24,363
店舗閉鎖損失引当金	11,506	9,505
ポイント引当金	15,021	21,435
資産除去債務	40,351	10,611
その他	1,214,613	1,009,690
流動負債合計	5,259,219	4,959,187
固定負債		
退職給付に係る負債	398,034	437,688
繰延税金負債	1,749,433	1,881,013
資産除去債務	693,059	708,994
その他	1,110	1,110
固定負債合計	2,841,637	3,028,807
負債合計	8,100,856	7,987,994

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2015年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2015年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,503,148	4,503,148
資本剰余金	7,605,084	5,358,776
利益剰余金	△2,278,634	△182,746
自己株式	△59,615	△54,102
株主資本合計	9,769,983	9,625,077
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,280,143	4,075,175
為替換算調整勘定	60,260	57,156
退職給付に係る調整累計額	△129,755	△106,546
その他の包括利益累計額合計	3,210,647	4,025,785
新株予約権	6,690	7,467
純資産合計	12,987,322	13,658,330
負債純資産合計	21,088,178	21,646,325

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2014年3月1日 至2014年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2015年3月1日 至2015年11月30日)
売上高	15,982,821	16,095,678
売上原価	7,141,220	7,473,996
売上総利益	8,841,601	8,621,681
販売費及び一般管理費	8,887,072	8,628,817
営業損失(△)	△45,471	△7,135
営業外収益		
受取利息	5,186	4,997
受取配当金	123,648	117,827
為替差益	470	1,135
雑収入	5,240	4,628
営業外収益合計	134,546	128,589
営業外費用		
雑損失	1,561	2,404
営業外費用合計	1,561	2,404
経常利益	87,513	119,049
特別損失		
減損損失	180,209	114,939
特別損失合計	180,209	114,939
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△92,695	4,109
法人税、住民税及び事業税	97,016	96,771
法人税等調整額	△2,930	—
法人税等合計	94,085	96,771
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△186,781	△92,661
四半期純損失(△)	△186,781	△92,661



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年3月1日 至 2014年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年3月1日 至 2015年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△186,781	△92,661
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24,257	795,032
為替換算調整勘定	△526	△3,103
退職給付に係る調整額	-	23,208
その他の包括利益合計	△24,783	815,137
四半期包括利益	△211,565	722,475
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△211,565	722,475
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。